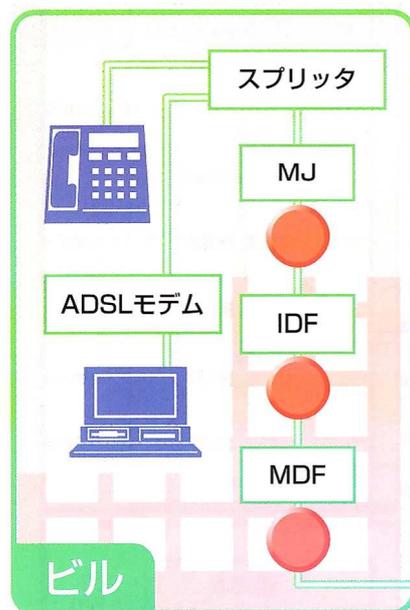


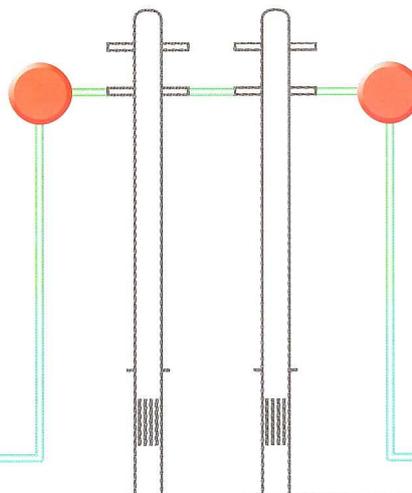
現場ニーズ  
による改良

ハンドシェイク方式を採用した回線開通試験を目的としたリンク確立に  
データ確立可能か否かの判断を新機能として追加!

# IAC-SP ADSL信号チエツカ



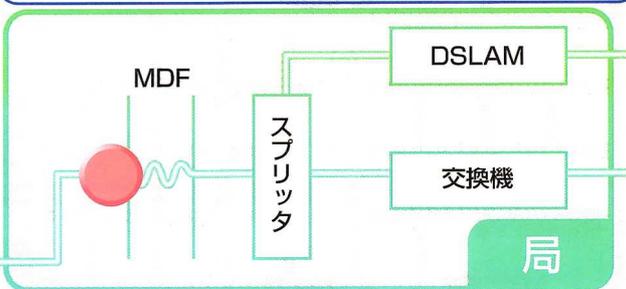
## ADSLリンク確立の確認による



- ☆局内 (H架) 線番側の開通・撤去。ビル側の開通・撤去。
- ☆ADSL回線の故障区間の特定。(回線の切り分け作業による)
- ☆加入者側の回線切替作業。
- ☆NTT各社とYahoo!BBの区別が可能。(Annex C と Annex A の識別)

- Annex C ▶ NTT各社、イーアクセス、アッカ・ネットワーク
- Annex A ▶ Yahoo!BB

- ★回線切替時の極性誤り防止。
- ★ビル内での Type1 と 2 の区別。
- ★ビル内での Type2 の誤切断防止。(無電圧のため)



通常、宅内設置のADSLモデムには、リンク確立として

- ①ハンドシェイク方式による  
モデム ↔ DSLAM 間の回線開通試験
- ②データ確立が可能か否かのトレーニング  
の2種類を有します。

**New!**

データ確立可能か否かの  
判断: ADSL信号の伝送損失レベル  
によって、  
リンク確立ボタンの緑ランプ  
表示が変化します。

### 点灯: 0~40dB

→ 収容局 DSLAM から  
約2.5km以内。  
安定した接続が可能なレベルです。

### 速い点滅: 41~45dB

→ 約2.5~3.2km近辺  
グレーゾーンを表す。  
ノイズ等により接続が  
不安定になることがあります。

### 遅い点滅: 46~60dB

→ 約3.2~5km近辺  
ノイズやブリッジタップ等により  
接続が不安定であったり、  
出来ない場合が多くなります。



## IAC-SPは

ハンドシェイク方式のみを採用  
した製品で、ADSLの伝送損失  
60dB (5kmに相当) まで  
DSLAM信号受信可能とした  
製品です。

## リンク確立試験ボタンを押す

Annex C } C又はAいずれかの  
Annex A } LEDが点滅

ADSLのリンク確立

**DSLAM → IAC-SP**

## 局側断線の場合、モデムを検出

ADSL上りが点灯

**IAC-SP ← ADSLモデム**

ADSL 上り } キャリア有り点灯  
下り }

## Type 1

アナログ使用中点灯 + ADSL 上り/下り点灯  
アナログ空き点灯 + ADSL 上り/下り点灯

## Type 2 <無電圧>

ADSL 上り/下りのみ点灯

- 添付: ワニ口クリップ付MJコード(1本)  
アルカリ単3電池(2本)
- オプション: MJ接続コード各種  
256、258、200UTS、40A/45A  
ニッケル水素電池付充電器
- サイズ: 縦128×幅64×高さ28mm
- 質量: 190g

状態	接続イメージ	表示
ADSL回線 リンク確立 ➡リンク確立試験 ボタンを押す (データ確立→表頁参照)		<ul style="list-style-type: none"> <li>● Annex C ←点灯</li> <li>○ Annex A</li> <li>○ 上り</li> <li>○ 下り</li> </ul>
局側断線の場合 ADSLモデム を検出		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ Annex C</li> <li>○ Annex A</li> <li>● 上り ←点灯 (アカ)</li> <li>○ 下り</li> </ul>
Type1 モデム(通信中)起動中 電話通話中		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ Annex C</li> <li>○ Annex A</li> <li>● 上り ● 下り ←点灯</li> <li>○ 空き</li> <li>● 使用中 ←点灯</li> </ul>
Type1 モデム起動中 電話非使用中		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ Annex C</li> <li>○ Annex A</li> <li>● 上り ● 下り ←点灯</li> <li>● 空き ←点灯</li> <li>○ 使用中</li> </ul>
Type2 モデム起動中		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ Annex C</li> <li>○ Annex A</li> <li>● 上り ● 下り ←点灯</li> <li>○ 空き</li> <li>○ 使用中</li> </ul>
ISDN回線 端末OFF (呼毎起動)		<ul style="list-style-type: none"> <li>● 空き ←点灯 (ミドリ)</li> <li>○ キャリア/ データ有</li> </ul>
端末OFF または 非通信中 (常時起動)		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 空き</li> <li>● キャリア/ データ有 ←時々点滅</li> </ul> <p>キャリア有りとデータ有りを識別</p> <p>デジタル信号を検出した場合は、線間電圧に関係なく「キャリア有」が点灯します。DSU-交換機の通信で約10秒に1回「データ有」が短く点滅する場合があります。</p>
アナログ端末 使用中		<ul style="list-style-type: none"> <li>B/Dチャンネル有り →点滅</li> <li>○ 空き</li> <li>● キャリア/ データ有 ←点滅</li> </ul>
デジタル端末 使用中		<ul style="list-style-type: none"> <li>B/Dチャンネル有り →点滅</li> <li>○ 空き</li> <li>● キャリア/ データ有 ←点滅</li> </ul>
(注) 使用現場が交換機からもDSUからも遠く、データの信号レベルが低い(線路損失が約40dB以上)の場合、データ検出が不安定となり、「データ有り」が点滅しない場合があります。		
アナログ回線 非使用中	線間電圧: 41~55V デジタル信号: なし	<ul style="list-style-type: none"> <li>アナログ ● 空き ←点灯 (ミドリ)</li> <li>○ 使用中</li> </ul>
使用中	線間電圧: 3~40V デジタル信号: なし	<ul style="list-style-type: none"> <li>アナログ ○ 空き</li> <li>● 使用中 ←点灯 (アカ)</li> </ul>
極性判定	線間電圧(約3V以上)の極性により、極性ランプが点灯します	(通信中は発信者側の極性がリバーシします)
	L1(A)が+、L2(B)が-の場合	「A: +」が点灯
	L1(A)が-、L2(B)が+の場合	「B: +」が点灯